

## 【エージェンシー】

エージェンシーとは、経済協力開発機構（OECD）が、「Education 2030 プロジェクト」において示した「OECDラーニング・コンパス（学びの羅針盤）2030」の中で、中心的な概念としている言葉で、「変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力」と定義されています。

これからの時代において、児童・生徒が目的意識をもち、自分自身の責任を果たしながら、将来的な目標を見据えたり、物事を批判的に考えたり、現状に疑問をもって考え行動できる力を養うことが必要となります。また、自分のことだけでなく、周りの人のことも考え、よりよい社会の担い手となるための行動力も大切な力となります。そのため、児童・生徒が教師の決まりきった指導や指示をそのまま受け入れるのではなく、自分で考えて、意味ある、また責任感を伴う方法で解決策を見出す力を養っていくことが

重要です。

学習指導要領解説総則編には、「学校教育には、子供たちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構築するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようにすることが求められている」とあります。つまり、学習指導要領が示す、資質・能力の育成を目指した教育課程を各学校が編成し、子供たちが主体的・対話的で深い学びを進めることのできる授業を進めていくことにより、エージェンシーの力を育成することにつながると考えます。

全公教 広報部 東京都立川市立第二小学校 副校長 日向義裕

参考文献資料

OECDラーニング・コンパス（学びの羅針盤）2030

## 教育用語解説



**Educasphere** 2024 Vol.14

発行 2024年11月1日  
編集 全公教機関誌編集委員会  
著作権所有 全国公立学校教頭会  
会長 松野 博文  
〒105-0002  
東京都港区愛宕1-6-7  
愛宕山弁護士ビル401号  
電話 03-3436-4868  
<https://www.kyotokai.jp>  
印刷・製本 壮光舎印刷株式会社  
表紙写真 (高知城) photo by J.S.

## 編集後記

### 第

66回全国公立学校教頭会研究大会高知大会が盛会のうちに幕を閉じました。会場に1,224名、オンラインで1,721名、合計2,945名の参加がありました。全体会での講演会、シンポジウムの他、分科会での各地域の緻密な発表、オンラインも活用した熱のこもった協議、示唆に富む助言者からの指導等々豊かで実り多い全国研究大会でした。

私は高知大会で、運営の方々のきめ細やかな配慮に敬服いたしました。あわせて、これまでの御準備の苦勞を感じました。また、高知県の豊かな自然、伝統ある歴史、そして人々の温かさに接することができました。

本号は、特集「高知大会」の他にも随所に教育界の最先端をいく皆様の原稿を集結させました。会員の皆様の教育活動の一助になると確信しています。

末筆ながら機関誌Educasphere14号発行にあたり、執筆をいただきました皆様に心から感謝申し上げます。

全公教 広報部 千葉県九十九里町立九十九里小学校 教頭 石橋 真人